

平成 16 年度ホタテガイ採苗情報 (第 3 報)

平成 16 年 4 月 30 日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿岸地方振興局水産部

「付着稚貝が確認されています。」

1 ラーバの出現状況

4月30日に唐丹湾でラーバ調査を行いました。

ホタテガイラーバの出現数は、200 μ m未満が10個/トン、200 μ m以上が15個/トンと、前回調査時(合計22個/トン)とほぼ同じ値でした。

なお、調査時の水深10m層の水温は8.2 $^{\circ}$ Cと、前回調査時より0.3 $^{\circ}$ C上昇し、平成9~15年の平均値とほぼ同じ値となっています。

2 試験採苗器による付着稚貝調査

4月27日以降の調査において、宮古、釜石および大船渡地区の各定点で付着稚貝が確認されました。

釜石地区の唐丹湾の375個/袋をはじめ県中部と中南部では、多数の稚貝が付着していました。

なお、唐丹湾では、付着稚貝のほぼ半数が付着直後の個体でした。

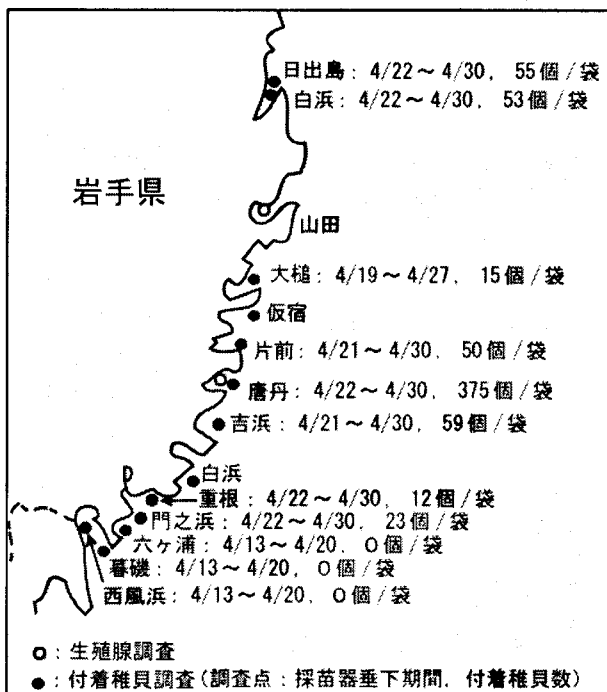


図 調査点と付着稚貝調査結果

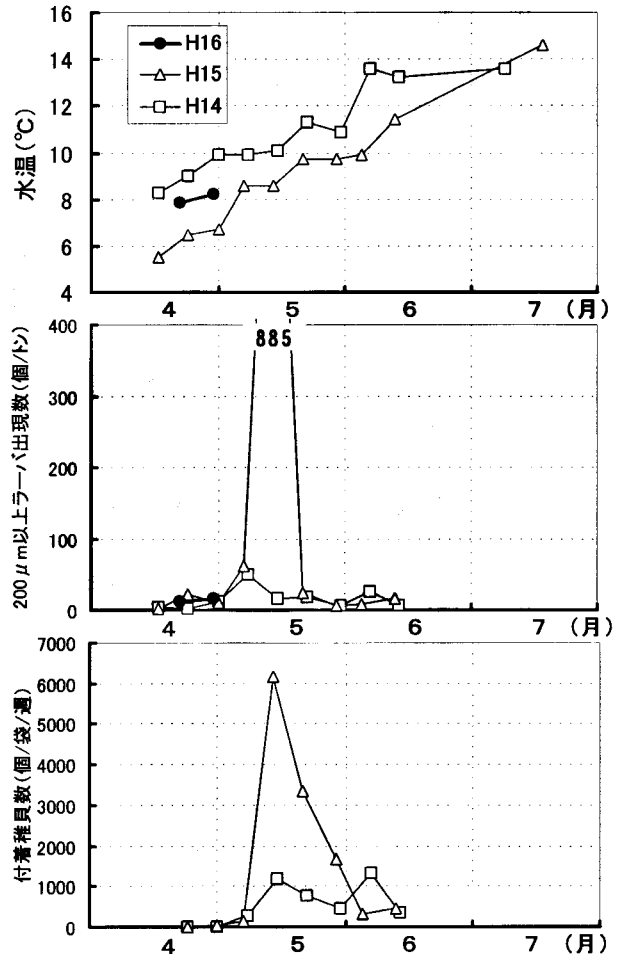


図 唐丹湾における水深10m層水温とホタテガイラーバ・付着稚貝の出現状況

県中南部では、大型のラーバと付着稚貝が確認されています。

しかも、付着直後の稚貝が多数確認されていることから、稚貝の付着は続いているものと考えられます。

次報は、5月7日頃発行する予定です。